

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2018年			
3月 2日(金)	第34回市民環境学校「水道技術講座(8)」	東京	本号
6日(火)	2017年度日本水環境学会東北支部 第4回「水辺のすこやかさ指標」ワークショップ	仙台	本号
6日(火)	17-1 高分子と水・分離に関する研究 2017年度界面動電現象研究会 コロイドと高分子の科学の歴史を考える	東京	1号
10日(土)	平成29年度日本水環境学会九州沖縄支部 研究発表会・総会	熊本	本号
14日(水)	第52回日本水環境学会年会併催 Japan-YWP ワークショップ「テクノロジーマッピング - 水処理技術の向かう先は -」	札幌	本号
15日(木)~17日(土)	第52回日本水環境学会年会	札幌	本号
15日(木)	第52回日本水環境学会年会併催 Japan-YWP セミナー「発明が社会実装されるまで」	札幌	本号
17日(土)	第52回日本水環境学会年会併催 全国環境研協議会研究集会	札幌	本号
17日(土)	第52回日本水環境学会年会併催 平成29年度環境研究総合推進費 研究成果発表会	札幌	本号
5月 22日(火)	第31回環境工学連合講演会「レギュラトリーサイエンスと環境工学」	東京	
26日(土)~27日(日)	第20回マリンバイオテクノロジー学会大会	宮崎	本号
6月 12日(火)	第38回通常総会	東京	
7月 14日(土)~15日(日)	WET2018 (Water and Environment Technology Conference 2018)	愛媛	本号
8月 3日(金)	第27回市民セミナー	東京・大阪	
9月 4日(火)~6日(木)	第21回日本水環境学会シンポジウム	島根	
16日(日)~21日(金)	IWA World Water Congress & Exhibition 2018	東京	本号
10月 15日(月)~19日(金)	第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦 2018)	茨城	本号
2019年			
3月	第53回日本水環境学会年会	山梨	

水環境学会誌原著論文編『高速審査月間』のお知らせ

水環境学会誌原著論文編（以下、和文誌）では本年も3月～5月の3ヶ月間を『高速審査月間』とし、学会員の皆様からの論文投稿を広く募集いたします。『高速審査月間』では、通常時に比べて体制を強化して査読の迅速化をはかり、投稿受付から1ヶ月以内に1回目の査読結果をお返しいたします。

日頃、研究活動に勤しんでおられる学会員の皆様に、各種プロジェクトの報告書作成に向けて、あるいは学位取得に向けて、スケジュールが組みやすく魅力的なサービスになると考えております。また、3月に開催される年会でご発表される内容をブラッシュアップし、広く学会員の皆様に成果を還元していただく上でも無理のないスケジュールになっているものと考えております。ぜひ、この機会をご活用いただき、貴重なご研究の成果を水環境学会誌でご発表ください。

編集委員長 藤原 拓

第52回日本水環境学会年会への参加申し込みを予定される方へ（入会案内）

2018年3月15日（木）～17日（土）に北海道札幌市にて第52回日本水環境学会年会が開催されます。年会の参加予約申込締切は2018年2月20日（火）24:00です。

年会参加予定者につきましては、2018年2月13日（火）までに入会申し込み手続きをしてくだされれば会員価格でご参加いただけます。

インターネットでの入会申し込み手続き、年度会費の入金確認後、入会が承認されるまで会員番号は発行されませんので、お気をつけください。

入会案内 URL : <http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>

本会関連行事

第52回日本水環境学会年会 参加申し込み案内

第52回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の参加申し込みをお待ちしております。

1. 概要

内容 一般研究発表

（口頭発表とポスター発表のセッション）

期日 2018年3月15日（木）～17日（土）3日間

会場 北海道大学工学部

（札幌市北区北13条西8丁目）

交通 JR札幌駅から徒歩約20分

または札幌地下鉄南北線北12条駅から徒歩約10分

詳細は <http://www.eng.hokudai.ac.jp/access/>

内容 一般研究発表（口頭発表とポスター発表）

などが下記の要領で行われます。ポスター発表のコアタイムは15日と16日に分けて実施されます。年会優秀発表賞（クリタ賞）の審査対象の発表は16日、年会学生ポスタ

ー発表賞（ライオン賞）の審査対象の発表は15日です。なお、3月15日および16日には「水質計測・水処理技術展2018」が併催されます。

3月15日（木）：口頭発表、ポスター発表（P-A〇〇）、ライオン賞の発表と審査、ランチョンセミナー、見学会

3月16日（金）：口頭発表、ポスター発表（P-B〇〇～P-〇〇〇）、クリタ賞の発表と審査、特別講演、表彰式（水環境文化賞・みじん子賞・クリタ賞・ライオン賞・国際活動賞（いであ活動賞）・国際招聘賞（JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award）、ランチョンセミナー、見学会、懇親会

3月17日（土）：口頭発表、見学会、団体会員説明会

2. 年会参加申し込み案内

事前の参加申し込み（予約申し込み）にご協力をお願いいたします。すでに発表を申し込まれた方も、改めて参加申し込みが必要です。なお、発表申し込みやクリタ

賞、ライオン賞の募集は終了しました。

(1) 予約申し込み方法

本会のホームページ (<http://www.jswe.or.jp/>) の「イベント」の「年会」にある『年会への参加のお申し込み』でお申し込みください。予約申し込みの期限は **2018年2月20日(火)(送信有効)** です。これ以降は年会当日に会場での受付となります。なお、インターネットによる予約申し込みについて不都合のある方は、下記の学会事務局、年会担当までお問い合わせください。

(2) 年会参加費および懇親会費

参加費および懇親会費は右記のとおりです。

予約申し込みの場合は、申し込みと共に参加費と懇親会費の合計を下記のいずれかの指定口座に送金ください。振込み手数料はご負担ください。また、郵便振込用紙等の通信欄に申込番号を明記し、送金者名は申込時の名義と同じにしてください。公費等による支払いで送金者名が機関や機関代表者となる場合には、正確にご記入ください。請求書が必要な場合は申込時にその旨及び宛先、送付先をご記入ください。

現金書留も受け付けておりますが、その場合は学会事務局の年会担当に、予約申し込み後に送信される「参加申し込み受付完了」のページを印刷し、同封してお送りください。書留・郵送料はご負担ください。

2018年2月28日(水)までにご送金を確認できない場合は、キャンセル扱いとさせていただきます。ご入金確認までに郵便振替(ゆうちょ銀行への送金含む)は2~7日、三菱東京UFJ銀行への振込は1~3日かかります。

参加費は以下の通りです。**2015年度(第50回)から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル(ダウンロード方式)版が標準となり、冊子版をご希望の場合は参加費が増額になります。**また2015年度から、年会自体には参加せず年会参加者に同伴して懇親会に参加する家族の懇親会参加費を設定いたしました(当日申込のみ)。

		予約 申し込み	年会当日 申し込み	
参加費 (冊子版なし)	正会員(不課税)	6,000円	7,000円	
	学生会員(不課税)	3,000円	4,000円	
	非会員 (課税, 税込み)	一般	19,000円	20,000円
		学生	8,000円	9,000円
参加費 (冊子版有)	正会員(不課税)	9,000円	10,000円	
	学生会員(不課税)	6,000円	7,000円	
	非会員 (課税, 税込み)	一般	22,000円	23,000円
		学生	11,000円	12,000円
懇親会費 (課税, 税込み)	正会員	3,800円	5,000円	
	学生会員	3,200円	4,000円	
	非会員	一般	5,000円	6,000円
		学生	4,000円	5,000円
	同伴家族	小学生以下	—	無料
	学生・一般	—	5,000円	

銀行口座

三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通預金
口座番号：4948527
名義：公益社団法人日本水環境学会年会口
名義カナ：シヤ)ニホンミズカンキョウガツカイ
ネンカイグチ

振替口座(ゆうちょ銀行)

口座番号：00180-5-564127
加入者名：公益社団法人日本水環境学会

(3) 講演集の電子化について

2015年度(第50回)から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル(ダウンロード方式)版が標準になり、予約参加登録済みの方には講演集ダウンロードのためのIDとPWをE-mailにてお知らせします。講演集の公開日(発行日)は年会開催日の1週間前(2018年3月9日)を予定しています。当日参加申込の方には、当日登録時にIDとPWをお知らせします。

年会会場での印刷サービスはありません。

ただし、プログラム等については冊子版を用意します。

また、追加料金での冊子版講演集のご提供も予定していますが、印刷数には限りがありますので、確実な入手をご希望の方は予約参加登録をお願いします。

(4) 参加証/講演集引換券の送付

ご入金の確認についてはE-mailにてお知らせします。また、そのE-mailが参加証/冊子版講演集引換券(予約者のみ)となりますので、それを印刷してご持参ください。なお、複数名で一括申し込みされた場合は、お手数ですが参加者は各自1枚ずつ印刷したものをご持参願います。

(5) 懇親会について

懇親会の開催概要は以下の通りです。皆様奮ってご参加ください。なお、懇親会会場の収容人数に限りがありますので、予約参加申込をお勧めします。予約参加者数によっては、当日参加をお受けできない場合があります。何卒ご了承ください。

日時 2018年3月16日(金) 18:30~20:00

会場 キリンビール園 本館 中島公園店
(札幌市中央区南10条西1丁目1-60)
地下鉄南北線中島公園駅1番出口徒歩2分
<http://www.kirinbeer-en.co.jp/>

3. 宿泊・昼食などのご案内

宿泊の斡旋は行っておりません。札幌市内は慢性的に混みあう恐れがありますので、早めの手配をお願いします。

昼食につきましては、開催期間中の全日程において大学内の食堂、売店等の利用が可能です。

4. 託児室の設置

年会会場に設置される託児室を無料で利用いただけます。お問い合わせ・お申込みは takuji@jswe.or.jp までお願いします。

5. 発表される方へ

口頭発表はパワーポイントの発表を原則とします。1演題につき発表10分、質疑応答5分を予定しています。講演日時は学会ウェブサイトに掲載予定です。ポスターの大きさは横85cm×縦175cm以内とし、年会開催期間中の指定期間、掲示していただきます。ポスターセッションの一般発表コアタイムは、P-A〇〇は15日の13:30~15:00、P-B〇〇~P-〇〇〇は16日の10:45~12:15のいずれか指定の日時(1日のみ)です。クリタ賞の審査対象発表のコアタイムは2日目の10:45~12:15、ライオン賞の審査対象発表のコアタイムは15日の13:30~15:00と16:45~17:45です。コアタイムが変更になりますのでご注意ください。

登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)の変更は、事前にご連絡の上、共同発表者に限ります。年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。

6. 特別講演のご案内

講師として横井成尚氏(サッポロビール株式会社 取締役 執行役員)、三明稔氏(ニッカウキスキー北海道工場長)の講演を予定しています。

期 日 2018年3月16日(金) 15:15~16:15

会 場 特別会場1(北海道大学工学部)

参加費 無料(日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。)

7. 各種セミナーなど

下記の2つの学会主催ランチョンセミナーが予定されています。

1) 学生ならびに会員向けランチョンセミナー「水環境分野で働く女性たち」(男女共同参画推進委員会、北海道支部協賛)

日 時 2018年3月15日(木) 12:20~13:30(予定)

会 場 G会場(北海道大学工学部)

定 員 40名(事前申込制、予定)

参加費 無料(お弁当、飲み物付き)

申込方法 男女共同参画推進委員会 jswe-eg@jswe.or.jp に 氏名、所属、年齢(学生の方は学年)を記載の上ご連絡ください。

2) 学生向けランチョンセミナー「ビジネスガイダンス」(産官学協力委員会)

日本水環境学会年会に参加する学生を対象に、水環境にかかわる民間企業の仕事の内容・仕事の楽しさ等を、実際に日々働いている方々数名より紹介するランチョンセミナーを開催いたします。「水環境ビジネスガイダンス~水環境の仕事に携わりたい学生の皆さんへ~」をテ-

マとして、個別企業の宣伝ではなく、水環境に関連する業界(公的機関、プラントエンジニアリング、コンサルティング、ゼネコン、化学品、装置・分析等)ごとの一般ガイダンスとして紹介し、学生が水環境関連の仕事に興味を持つきっかけとしてもらうことを目的としております。昼食を食べながら水環境分野で働く企業人と交流を深めていただき、自由闊達な質疑応答ができればと考えております。多くの学生のご参加をお待ちしております。

日 時 2018年3月16日(金) 12:20~13:30(予定)

会 場 特別会場1(北海道大学工学部)

定 員 約100名(先着順、予定)

参加費 無料(お弁当、お茶付き)

申込方法 年会受付にて3月15日(木)より申し込みを受け付けます。受付時にチケットをお渡しします。

8. 見学会のご案内

特別講演の内容と関連した場所を見学していただきます。

コース1 サッポロビール北海道工場

(北海道恵庭市戸磯542-1)

JR千歳線「サッポロビール庭園」駅下車)

日 時 3日間とも開催。現地集合、14時開始

参加費 無料、ただし往復交通費は自己負担

定 員 1日あたり24名

申込み方法 事前申込のみ、申込締切日3月9日(締切日前であっても定員に達し次第締め切らせていただきます。)

コース2 ニッカウキスキー北海道工場余市蒸溜所

(北海道余市郡余市町黒川町7-6)

JR余市駅下車徒歩約2~3分)

日 時 3日間とも開催。14:30現地集合

参加費 無料、ただし往復交通費は自己負担

定 員 1日あたり50名

申込み方法 事前申込(定員に余裕がある場合に限り、当日申込を受け付けます。)

申し込み・問い合わせ先

両コースとも、第52回日本水環境学会年会実行委員会(見学会担当 E-mail: excursion@jswe.or.jp)に、希望コース、希望日、参加者氏名・所属、及び当日連絡可能な連絡先を明記して申し込んでください。

※現地の状況等により、内容、時間などに変更がある可能性があります。

9. 団体会員説明会~水環境分野への就職を希望する学生の皆さまへ~(産官学協力委員会)

団体会員(企業、公益団体)の新卒採用計画および技術・商品、研究活動等について、学生の皆さんと対象団体が個別に直接コミュニケーションを図っていただける説明の場を設けました。是非奮ってご参加ください。

日 時 2018年3月17日(土) 11:00~15:00(予定)

会 場 北海道大学工学部C棟2階ポスター会場、

団体会員ごとにブース設置

定員 1団体あたり、各セッション15名程度

参加費 無料、先着順（※日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。）

10. 年会参加証明書の発行について

継続技術者教育（CPD）の観点から、要望に基づき年会参加証明書を発行します。年会参加証明書の発行を希望される方は、当日聴講開始時と終了時に、CPD受付においてその旨を申し出てください。

11. 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会第52回年会係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

第52回日本水環境学会年会併催行事

1. Japan-YWP ワークショップ

「テクノロジーマッピングー水処理技術の向かう先はー」

水環境分野でこれまでに取り組んできた問題と、その問題を解決した技術を振り返った上で、30年先に向けて、今後起こりうる問題と求められる技術について議論する機会を設けます。

主催 Japan-YWP

期日 2018年3月14日（水）14:00～18:00

場所 特別会場2（北海道大学工学部）

プログラム

- (1) 水環境分野で経験した課題と水処理技術の変遷
- (2) グループディスカッションー水環境分野の未来に求める技術ー
 - ・水環境分野が抱える現在から未来の課題
 - ・求める水処理技術
- (3) 総合討論

参加費 無料（原則、事前申し込み。当日参加も可。）

申し込み・問い合わせ先

Japan-YWP 共同代表 山村 寛（中央大学）

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

Tel：03-3817-7257

E-mail：yamamura.10x@g.chuo-u.ac.jp

2. Japan-YWP セミナー「発明が社会実装されるまで」

研究成果が実際に社会実装された事例について、当事者から経緯や実現できた要因について紹介していただき、研究成果を社会で利用するために必要なことについて理解を深めようという企画です。

主催 Japan-YWP

期日 2018年3月15日（木）18:20～20:00

場所 特別会場2（北海道大学工学部）

講演内容

「グラニューールを利用した高速窒素排水処理システム」
オルガノ株式会社 長谷部 吉昭

「OD法における二点DO制御システムの開発ー基礎研究から実用化までー」

前澤工業株式会社 ゲン タン フォン

「DHSの研究開発について（仮）」

香川高等専門学校 多川 正

※セミナー終了後に懇親会を予定しております。詳細はお問い合わせください。

参加申し込み方法

申込不要。当日会場までお越しください。（懇親会に参加される場合は事前にご連絡ください。）

参加費 無料

問い合わせ先

Japan-YWP 運営委員 栗田宗大（電力中央研究所）

〒270-1194 千葉県我孫子市我孫子1646

Tel：070-6978-5591

E-mail：tokikuri@criepi.denken.or.jp

3. 全国環境研協議会研究集会

第52回日本水環境学会年会において、水環境分野の行政施策や調査研究の一層の充実を図るため研究集会を開催します。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

主催 全国環境研協議会

日時 2018年3月17日（土）9:00～12:00

場所 特別会場2（北海道大学工学部）

内容 第1部 講演

門上希和夫氏（北九州市立大学）

中島大介氏（国立環境研究所）

山西博幸氏（佐賀大学）による計3題

第2部 一般発表（全国環境研協議会会員による発表5題）（予定）

（テーマ）各地方環境研究所における水質事故等で解決に導いた事例紹介や水質環境基準項目の測定方法に関する研究について

参加費 無料（日本水環境学会年会の参加登録がない、また、事前の参加申し込みがない場合でも、参加は可能です。）

問い合わせ先

全国環境研協議会企画部会事務局

佐賀県環境センター（担当：池田利記子）

Tel：0952-30-1616 Fax：0952-32-5940

E-mail：zenkankenkikaku@pref.saga.lg.jp

4. 平成29年度環境研究総合推進費 研究成果発表会

主催 独立行政法人 環境再生保全機構

期日 2018年3月17日（土）9:30～15:10

場所 特別会場3（フロンティア応用科学研究棟）

内容

第52回水環境学会年会において、環境省の競争的資金である環境研究総合推進費の水環境に関する研究課題について、成果発表会を開催します。岡田光正氏（放送大学理事・副学長）による基調講演や、環境省担当者によ

る講演もごございますので幅広い方々のご来場を心よりお待ちしております。

参加費 無料（日本水環境学会年会の参加登録がなくても参加可能ですが、この発表会の事前参加申し込みが必要です）

詳細 URL https://www.erca.go.jp/suishinhi/seika/seika_3.html

問い合わせ先 独立行政法人 環境再生保全機構

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2

麹町 M-SQUARE 3 階

Tel : 03-3237-6600 Fax : 03-3237-6610

E-mail : erca-suishinhi@erca.go.jp

Water and Environment Technology Conference (WET2018)

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”を開催致します。会議での発表に合わせて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

主催 日本水環境学会

期日 2018年7月14日（土）～15日（日）

場所 愛媛大学（愛媛県松山市）

交通 市内電車環状線「赤十字病院前」から徒歩5分

内容 口頭発表とポスター発表のハイブリッド発表

発表申込方法

発表申し込みは本会ホームページ（URL：<http://www.jswe.or.jp>）からのみ受け付けます。申し込み開始は2018年2月中旬を予定しています。トップページのWET2018のパナーより発表申し込みのページにお進みいただき、必要事項および講演要旨（150語以上200語以内、謝辞を含む。登壇者に下線を引くこと。キーワードおよび図表は不要）を記入の上、送信してください。1人の登壇者が2つ以上の発表を行うことは認めておりません。申し込み期限は2018年4月26日（木）24:00（JST（日本標準時））、以下の期日は全て同様です。発表可と判断された場合、その通知を5月17日（木）までにお送りします。なお、WET2018で配布される講演要旨集には要旨のみが掲載されます（提出された要旨にキーワードや図表が含まれていた場合、要旨集では削除されます）。

論文投稿方法

JWETへの論文投稿は、発表受付メールに記載の方法に従って2018年6月29日（金）までにWeb上で行ってください。投稿された論文は通常の査読が行われ、2018年8月29日（水）までに査読結果を通知いたします。なお、論文投稿の有無に関わらず、WET2018で配布される講演要旨集には要旨のみが掲載されます。

テーマ（下記に限りません）

- ・ Analysis of water and environment quality

- ・ Modeling of water and environment
- ・ Treatment of water and wastewater
- ・ Restoration of contaminated environment
- ・ Hazardous chemicals and waste management
- ・ Public health and risk assessment
- ・ Environmental education and training
- ・ Water reclamation

表彰

Excellent Poster AwardをWET2018の発表者すべてから、Excellent Paper AwardをJWETへ論文投稿した発表者から選出し表彰します。

参加登録

WET2018のwebページにて、Early-bird registrationを2018年6月21日（木）24:00まで受け付けます。以後は当日受付となります。登壇者（発表申込者）は自動的に事前予約扱いになりますので、事前予約は不要です。いずれの場合も、参加費は当日受付にてお支払いください。

参加費

一般

	Participant	Speaker
Early-bird	5,000 JPY	5,000 JPY
On site	7,000 JPY	5,000 JPY

学生

	Participant	Speaker
Early-bird	3,000 JPY	3,000 JPY
On site	4,000 JPY	3,000 JPY

問い合わせ先

WET事務局

Email : wet@jswe.or.jp, Fax : 03-3632-5352

平成29年度日本水環境学会九州沖縄支部 研究発表会・総会

主催 日本水環境学会九州沖縄支部

期日 2018年3月10日（土）

場所 国立大学法人熊本大学黒髪キャンパス仮設校舎
（B棟・F棟）（熊本市中央区黒髪2-39-1）

プログラム（予定）

- 9:30～ 受付
- 10:00～12:00 一般講演（1）
- 12:00～12:30 昼休憩
- 12:30～13:00 支部総会
- 13:20～16:20 一般講演（2）
- 16:30～17:00 閉会式（表彰式を含む）

参加費 研究発表会 2,000円（資料代 当日）

参加・研究発表の申込および講演集原稿の提出方法

支部ホームページの参加申込書（別紙1）に必要事項をご記入の上、郵送もしくはメールにてご提出ください。研究発表を行う場合は、研究発表申込書（別紙2）および

び講演集原稿を発表件数1件につき1部ずつ作成し期限内にご提出ください。申し込み用紙・講演集原稿執筆要綱は九州沖縄支部のホームページからダウンロードできます。

参加申し込み・研究発表申し込み・講演集原稿提出締め切りは2018年2月9日(金)です。

なお、発表プログラム等の最新情報は九州沖縄支部のホームページ(<http://www.jswe-kyusyu.com/index.html>)に掲載予定です。

優秀講演者表彰

学生を対象とした優秀講演者表彰を実施します。

申し込み・問い合わせ先

国立大学法人熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 濱 武英

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1

プレハブB棟119

Tel: 096-342-3495

E-mail: hama@kumamoto-u.ac.jp

2017年度 日本水環境学会東北支部

第4回「水辺のすこやかさ指標」ワークショップ ～「水辺のすこやかさ指標」の Webアプリ作成に向けて～

主催 日本水環境学会東北支部

水辺のすこやかさ指標研究会

期日 2018年3月6日(火) 13:00～16:30

場所 東北工業大学一番町ロビー 2Fホール
(仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル)

プログラム

開会挨拶 13:00～13:10

【第一部】13:10～15:10

話題提供

「水環境健全性指標のための情報共有プラットフォームの機能検証」 青森大学 角田 均

「水環境健全性指標を活用するための携帯アプリの開発について」(仮題) (株)日水コン 清水 康夫

「Web型マップアプリを用いた水辺のすこやかさ指標の活用事例」(仮題)

元青森県環境管理事務所 三上 一

「市民と行う水辺のすこやかさ指標を用いた梅田川調査」

東北工業大学 矢野 篤男

休憩 15:10～15:20

【第二部】15:20～16:20

総合討論

閉会挨拶 16:20～16:30

参加 どなたでも参加は自由です。

参加費 無料

問い合わせ先

東北工業大学環境エネルギー学科 矢野 篤男

Tel: 022-305-3961

E-mail: yano-t@tohtech.ac.jp

IWA 関連行事

The IWA World Water Congress & Exhibition IWA 世界水会議 (IWA2018 TOKYO)

主催 IWA (International Water Association)

期日 2018年9月16日(日)～21日(金)

場所 東京ビッグサイト (東京)

詳細 URL <http://worldwatercongress.org/>

IWA 2018 参加登録費助成予定のお知らせ

IWA 2018 TOKYO における研究発表者に対して会議参加登録費の助成を予定しています。地方の試験研究機関の会員や若手研究者など、国際会議への参加が難しかった方々が、IWA 2018 に奮って発表応募されることを期待しております。助成応募要項等の詳細は今後の学会誌会告、本会ホームページ等にて追ってお知らせいたします。

助成内容 会議参加登録費の全額または半額

助成人数 10名程度 (予定)

他学会関連行事

第34回市民環境学校『水道技術講座(8)』

主催 NPO 法人グリーンサイエンス 21

協賛 日本水道協会、全水道会館水情報センター、
日本水道工業団体連合会

期日 2018年3月2日(金)

場所 全水道会館 JR水道橋駅から徒歩5分

プログラム

13:30 開催の挨拶 坂本 弘道

13:40 講演「生物応答試験による水質評価」

NPO 法人環境生態工学研究所 理事長 須藤 隆一

14:50 報告「テロ対策：水道におけるバイオセンサーの現状」

15:50 〈質疑応答、情報交換、地方の現場からの質問〉

17:00 閉会の挨拶(次回の予告など)

参加申込締切 定員になり次第締め切り

参加費 一般 3,000円、(GS21 会員) 1,000円

詳細 URL <http://www.npo-gs21.org/>

問い合わせ先 NPO 法人グリーンサイエンス 21

〒165-0023 東京都中野区江原町 2-24-7

留守電 & Fax: 03-3952-1121

E-mail: nkaiga@y2.dion.ne.jp

第20回マリンバイオテクノロジー学会大会

主催 マリンバイオテクノロジー学会
協賛 日本水環境学会, 他
期日 2018年5月26日(土), 27日(日)
場所 フェニックス・シーガイア・リゾート・コンベンションセンター

◎大会の内容: 1. 一般講演(口頭発表, ポスター発表)
 2. シンポジウム(一般, ミニ)(発表者はマリンバイオテクノロジー学会員に限ります。)

◎一般講演のセッション: 1. 微生物 2. 微細藻類 3. 海藻・付着生物 4. 魚介類 5. 天然物化学・未利用資源 6. バイオミネラリーゼーション 7. 環境・環境適応 8. その他 ※それ以外は詳細URLをご参照ください。

申し込み方法 詳細はホームページでご確認ください。
事前参加申込締切 2018年4月27日(金)当日参加可
参加費 会員6,000円 学生3,000円※協賛いただきました学協会の会員の方は, 当学会員と同等の参加費で参加いただけます。

詳細URL <http://marinebiotechnology.jp/>

問い合わせ先

第20回マリンバイオテクノロジー学会大会実行委員会
 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学農学部内
 第20回マリンバイオテクノロジー学会大会実行委員会
 E-mail: mbt2018@cc.miyazaki-u.ac.jp
 (お問い合わせ等はE-mailでお願いします。)

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)

主催 茨城県, 公益財団法人世界湖沼環境委員会
期日 2018年10月15日(月)~19日(金)
場所 つくば国際会議場(つくば市竹園2-20-3)

プログラム

14日 学生会議
 15日 開会式, いばらき霞ヶ浦賞授与式
 基調講演, 湖沼セッション
 16日 政策フォーラム, 湖沼セッション, 分科会
 17日 エクスカーション(視察)
 18日 霞ヶ浦セッション, 分科会
 19日 会議総括, 閉会式
 20日 オプショナルツアー
 15日~19日 展示会

申し込み方法 詳細URLをご参照ください。

詳細URL <http://www.wlc17ibaraki.jp/>

問い合わせ先

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)
 実行委員会事務局(茨城県環境対策課内)
 〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6
 Tel: 029-301-2995 Fax: 029-301-2969
 E-mail: wlc17@pref.ibaraki.lg.jp

平成29年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は, 水環境関連分野の学術の発展に功績があった, あるいは本会に対し特に功労があった満70歳以上の会員を, 総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員推薦内規により, 会員は名誉会員候補者を推薦できるようになっております。

なお, 海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては, 学会事務局にお問い合わせください。

平成29年度「学会賞」, 「学術賞」
の受賞候補者の推薦について(募集)

これらの賞の選考については, それぞれの選考委員会に対し, 会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお, 学術賞に関しては, 年齢制限はありません。詳細につきましては, 学会事務局までお問い合わせください。

〈学会賞〉

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において, とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

1. 被推薦資格: 本会の会員にして, 受賞年度(平成29年度)において満60歳をこえる者
2. 提出書類: ①被推薦者の氏名, 住所, 所属, 略歴等, ②推薦理由書(2,000字以内), ③参考資料等, ④推薦者の氏名, 住所, 所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文, 著作, 学術的研究成果がとくに優れた会員に贈られます。

1. 被推薦資格: 本会の会員であること。年齢制限はありません。
2. 提出書類: ①被推薦者の氏名, 住所, 所属, 略歴等, ②対象とする研究成果, ③推薦理由書(2,000字以内), ④参考資料等(論文, 著作の一覧等), ⑤推薦者の氏名, 住所, 所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。

なお, 参考資料の論文, 著作の一覧は査読つき論文, 学会プロシーディングス, 解説, 著作などを明確に整理し, 推薦理由書等の資料は電子媒体での提出をお願いします。

提出期限 2018年3月2日(金)

提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

(公社)日本水環境学会「学会賞」, 「学術賞」係
 E-mail: info@jswe.or.jp

平成 29 年度「論文賞」および「論文奨励賞」の 受賞候補者の募集について

これらの賞の選考については、論文賞および論文奨励賞選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり、会員各位からのご推薦を期待しています。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

1. 応募要件

〈論文賞〉

水環境分野における学術・技術的に優れた一連の研究に基づく論文を発表した会員個人に対して贈られます。

1) 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度（平成 29 年度）の 4 月 1 日現在において満 40 歳以上の者

2) 対象論文：本学会誌（水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology）、国際水協学会誌（Water Research, Journal of Water Supply: Research and Technology - AQUA, Water Science and Technology, Water Science and Technology: Water Supply, Journal of Hydroinformatics, Journal of Water and Health, Journal of Water and Climate Change, Journal of Water Reuse and Desalination, Journal of Water Sanitation and Hygiene for Development, Hydrology Research, Water Practice and Technology, Water Policy, Water Quality Research Journal, Water Resources and Rural Development, Water Resources and Economics, Water Resources and Industry, Sustainability of Water Quality and Ecology）に、平成 29 年 12 月までの 3 年間に公表された審査付論文

〈論文奨励賞〉

水環境に関する研究が独創的であり、将来を期待される会員個人に対して贈られます。

1) 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度（平成 29 年度）の 4 月 1 日現在において満 40 歳未満の者

2) 対象論文：本学会誌（水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology）、国際水協学会誌（Water Research, Journal of Water Supply: Research and Technology - AQUA, Water Science and Technology, Water Science and Technology: Water Supply, Journal of Hydroinformatics, Journal of Water and Health, Journal of Water and Climate Change, Journal of Water Reuse and Desalination, Journal of Water Sanitation and Hygiene for Development, Hydrology Research, Water Practice and Technology, Water Policy, Water Quality Research Journal, Water Resources and Rural Development, Water Resources and Economics, Water Resources and Industry, Sustainability of

Water Quality and Ecology）に、平成 29 年 12 月までの 2 年間に公表された審査付論文

2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、
②論文名、掲載雑誌名（巻号、ページ数を含む）、③推薦理由書（1,000 字以内）、
④参考資料等、⑤推薦者の氏名、住所、所属（すべての提出書類の書式は自由です）

3. 提出期限：2018 年 2 月 23 日（金）

4. 提出先：〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
（公社）日本水環境学会「論文賞および論文奨励賞」係
E-mail：info@jswe.or.jp

平成 29 年度「技術賞」および「技術奨励賞」 候補者の推薦について（募集）

本会では、水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に技術賞を、また、水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に技術奨励賞を設け表彰しております。なお、技術賞および技術奨励賞受賞者（または団体）は、6 月に開催される日本水環境学会総会会場にて表彰され、本学会誌に受賞者（または団体）とその技術の受賞理由等についての記事が掲載され広く会員に周知されます。

つきましては、下記の要領にて、会員からの技術賞および技術奨励賞候補者の推薦をお願い申し上げます。「推薦」は自薦他薦を問いません。なお、参考までに過去 5 年間の技術賞受賞テーマ一覧および過去 3 年間の技術奨励賞受賞テーマを掲載いたします。

被推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人
提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会 HP よりダウンロードしてお使いください。また、各書類は正 1 部、副 11 部を提出してください。

- (1) 応募区分（技術賞または技術奨励賞を選択）
- (2) 被推薦者の氏名、住所、所属（団体の場合は名称および代表者名）、電話番号、略歴等（連名の場合、被推薦者の役割分担を明記）
- (3) 対象とする技術または調査研究（40 字以内）
- (4) 推薦者の推薦理由（①技術内容（調査内容）、②開発背景、③従来技術および優位性、④技術賞は実績を記載し技術奨励賞では実用化への取り組み、または調査研究に関しては期待される社会貢献について記載：2,000 字以内）
- (5) 推薦者（氏名、住所、所属等）
- (6) 参考資料等（文献、特許、新聞記事等）

提出期間 2018 年 1 月 4 日（木）～3 月 2 日（金）

提出先

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

(公社) 日本水環境学会

「技術賞および技術奨励賞」係

[参考] 過去 5 年間の技術賞受賞テーマ

平成 28 年：浮上ろ材を用いた合流改善高速ろ過技術

平成 27 年：グラニュールを利用した高速窒素排水処理システム

オキシデーションディッチ法における二点 DO 制御システム

平成 26 年：包括固定化技術を用いたアナモックス反応による窒素処理技術

平成 25 年：メタン発酵法を用いたコーヒー粕・茶粕・汚泥のバイオガス化技術

平成 24 年：深層酸素供給装置を用いたダム・湖沼深層水への酸素供給技術

技術奨励賞受賞テーマ

平成 28 年：下水処理施設由来の多面的環境負荷の統合評価手法

洗剤工場における製造工程排水リサイクルシステムの開発

平成 27 年：鉄バクテリア法を用いた地下水中の鉄・砒酸・亜砒酸の同時除去技術

水質モニタリングデータの活用による流域全体の変遷を捉えた水環境を見える化する手法

平成 26 年：浄水セラミック膜ろ過システムを用いた藻類障害対策技術の開発

海淡・下水再利用統合システムの開発

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>